

政宗らが約210年統治の歴史発掘

山形・高畠に「伊達の会」

来月 観光関係者ら設立

山形県高畠町で、伊達政宗らが約210年間統治した時代の歴史や文化を保存、情報発信して観光振興につなげる「たかはた伊達の会」が近く発

設立総会を開く。

主な活動は①今も町内に住む伊達家臣の子孫からの聞き取り、関連史料の収集によるエピソードの発掘②置賜地方での歴史を学ぶ講演会などの開催③観光案内のガイド養

活動する。伊達家の置賜支配は、1380年の8代宗遠に始まり、14代種宗までは西山城（福島県桑折町）

に本拠を置きながらも、1622年間、高畑城（高畠町）を勢力拡大の拠点にした。その後、本拠が米沢城（米沢市）になっても、1591年に17代の政宗が豊臣秀吉の命令で岩出山城（大崎市）に移すまで統治が続いた。

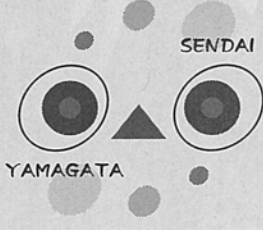
このため、高畠町には関連の史跡が置賜地方の中でも多く残る。政宗が幼少時代に虎哉和尚に英才教育を受け、今は政宗の父輝宗の墓がある資福寺跡、9代政宗（儀山）の墓などだ。

会は、戦国時代から明治に至るまでの上杉家支配が長かった置賜地方で、伊達家の歴史が陰に隠れてきたことに配慮。戦国武将ブームでの政宗の拔群の人気や、「歴史の女性たちの存在も意識して、広く情報発信する。高畠町観光協会の戸田一郎事務局長は「高畠で

今まででははらに受け継がれてきた伊達家の歴史を整理して後世に伝えたい。観光地としての受け入れ態勢整備も並行して取り組みたい」と意欲を見せている。



まほろばの里
たかはた



成とマップ作製④史跡環境の整備―など。高畠町観光協会を事務局として山形県高畠町の資福寺跡。伊達政宗の父輝宗の墓（右奥）などが並ぶ貴重な史跡だ。

©河北新報社 2010 (日刊)

河北新報

7月17日(土)

河北新報社

仙台市青葉区五橋1-2-28
(郵便番号 980-8660)